

第1回沖縄中部アラムナイセミナー「感染症」の開催

ハワイ大学事務所ディレクター 安次嶺 馨

2017年11月11日に、「沖縄県臨床研修事業50周年記念式典」が沖縄コンベンションセンターで、内外の賓客をお招きして盛大に開催されました。当院の研修終了生の60%以上が、沖縄県内の病院で勤務し、沖縄の医療を全国レベルに引き上げるという大きな役割を果たしました。

これを機に、2018年4月より、研修医同窓会を法人化して、研修事業のさらなる支援に取り組むことになりました。正式名称は「一般社団法人沖縄県立中部病院研修医同窓会（中部アラムナイ）」で、以下の事業を行います。

1. ハワイ大学短期研修への補助、2. 研修修了式で優秀研修医表彰、3. 沖縄中部アラムナイセミナーの開催（年2回）、4. 見学学生と研修員の交流会への援助、その他です。

さて、第1回アラムナイセミナーは、中部病院の看板ともいえる感染症をテーマにして10月13日、14日に開催されました。参加者は1日目69人、2日目46人、県内はもとより東京からも同窓生や医学生が参加し、熱心な講演と討議が行われました。アンケートでは、多くの意見が寄せられ、今後、年2回のセミナー開催に大きな期待が寄せられました。

次回は2019年3月17日に開催予定です。



第1日(10月13日) テーマ 研修医と語る臨床感染症

青木 眞 (感染症コンサルタント) 研修医主体の双方向的な症例検討会
須藤 博 (大船中央病院院長) ベットサイド教育のあるべき姿とは
椎木 創一 (沖縄県立中部病院感染症内科)
遠藤メモリアル: 遠藤先生の遺産と中部病院感染症管理の現状
成田 雅 (沖縄県立中部病院感染症内科)
中部病院感染症内科: 喜舎場回診から得られる Professionalism
高倉 俊一 (沖縄県立中部病院感染症内科)
中部病院院内コンサルテーション: 「宝の山」の紹介

第2日(10月14日) テーマ 沖縄から日本・世界の感染症を俯瞰する

高山 義浩 (沖縄県立中部病院感染症内科)
アジアの新興感染症に備える ゲートウェイとしての沖縄から
砂川 富正 (国立感染症研究所感染症疫学センター)
世界から見る沖縄の感染症事例
岩田 健太郎 (神戸大学感染症治療学分野教授)
Magic bullet again. 魔弾よふたたび
藤田 次郎 (琉球大学医学部第1内科教授)
沖縄県の感染症診療の将来を見据えて
町 淳二 (ハワイ大学医学部外科教授) セミナーのまとめと未来への展望